

授業科目 助産診断・技術学 IV

【担当教員名】 中山 和美、和田 雅樹		対象学年	4	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：GI0】 産褥期と新生児期の助産診断と助産技術の1つである保健指導について学ぶ。またハイリスク新生児の病態生理と治療について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1 産褥期・新生児期の助産診断を行う					
2 産褥期に必要な保健指導を計画立案する。					
3 ハイリスク新生児の病態生理と治療について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	産褥期・新生児期の助産診断			1	講義、担当：中山 和美
2	産褥期・新生児期の助産診断			1	講義、担当：中山 和美
3	産褥期・新生児期の助産診断と看護計画立案			1,2	グループワーク、担当：中山 和美
4	産褥期・新生児期の助産診断と看護計画立案			1,2	グループワーク、担当：中山 和美
5	産褥期・新生児期の助産診断と看護計画立案			1,2	グループワーク、担当：中山 和美
6	産褥期・新生児期の助産診断と計画立案			1,2	グループワーク、担当：中山 和美
7	産褥期・新生児期の助産診断と計画立案			1,2	発表準備、担当：中山 和美
8	産褥期・新生児期の助産診断と計画立案			1,2	発表、担当：中山 和美
9	産褥期の保健指導計画立案			2	グループワーク、担当：中山 和美
10	産褥期の保健指導計画立案			2	グループワーク、担当：中山 和美
11	産褥期の保健指導計画立案			2	グループワーク、担当：中山 和美
12	産褥期の保健指導立案			2	発表、担当：中山 和美
13	ハイリスク新生児の病態生理と治療			3	講義、担当：和田 雅樹
14	ハイリスク新生児の病態生理と治療			3	講義、担当：和田 雅樹
15	まとめ			1,2,3	担当：中山 和美
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		別途提示します			
参考書		別途提示します			
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験、グループワークへの参加態度で評価する。欠席が多い場合は減点することがある。			【履修上の留意点】 課題意識をもって主体的に学習してください。		